

新農業戦略対策特別委員会 県内行政視察概要

平成 27 年 11 月 12 日(木) ～11 月 13 日(金)

① 学校法人国際総合学園新潟農業・バイオ専門学校

- 視察テーマ：①専門教育による農業人材の育成について
②休耕地での試験栽培などの新技術確立に向けた取組について

○学校の概要について

農業に魅力を感じる若者を、食と農が人々の生活とより密接に関わるようコーディネートできる人材として輩出することを目指して、2011 年 4 月に新潟市中央区に開校した。現場との繋がりを最大限重視した農業・食品分野の専門教育を施すことで、専門性の高い人材を新潟県内外の農業や食品加工業界などに送り出している。また、大学併修制度の導入により大学卒業資格を取得することができるようにしている。

○「食・農・緑」分野の多岐にわたる教育

経営者の視点をもった農業従事者を育てるための専門教育を行う「農業経営科」、食品加工・醸造分野の専門教育と環境検査の専門技術の教育を行う「バイオテクノロジー科」、そして、花き栽培・造園・園芸福祉の専門教育を行う「園芸デザイン科」を設置している。

○県・市や法人との提携による現場実習

- ・新潟県立植物園、アグリパーク、いくとぴあ食花での現場実習を行っている。



新潟県立植物園



新潟市立アグリパーク



新潟市立いくとぴあ食花

- ・栽培技術指導・自然栽培共同開発研究【一般社団法人 新潟自然栽培研究会】

独自の自然栽培農法で世界から注目を集めている木村秋則氏を講師に迎え、社会的に注目されている無肥料・無農薬の実習授業を行っている。

- ・バイオ技術指導・きのこ共同研究【マイコロジーテクノ株式会社】

種、菌の生産、健康食品販売、薬用植物やきのこの栽培などを展開するバイオ企業との教育提携により、現場実習受入や専門家による技術指導を行っている。

○休耕地でのカンゾウ（甘草）の実証栽培

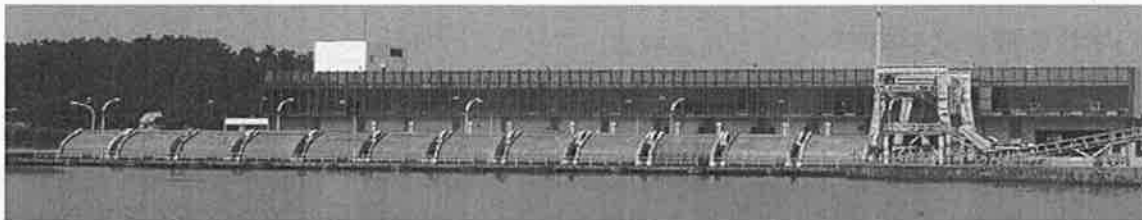
今年、新潟市北区の休耕地で農家と協力して薬用植物のカンゾウ（甘草）の試験栽培を開始した。同地域では葉たばこ栽培を行っていたが、日本たばこ産業株式会社の葉たばこ減産に伴い、平成 23 年にほとんどの農家が栽培をやめたため、休耕地が増えている。数量と品質が確保できれば、新たな作物として育てることができると期待されている。

② 新川河口排水機場

- 視察テーマ：①施設概要と役割について
②施設視察

○施設の概要について

昭和 45 年に国営新川第二農業水利事業により建設され、現在は国から委託を受けて新潟県が管理している施設。日本最大の排水機場であり、西蒲原中央部の排水を行う「新川」の水位を低く保ち、多くの排水機場、河川の排水を助ける重要な役割を果たしている。



○施設の特徴

西蒲原全域 (28,289ha) から水が流れてくるため、大きな排水能力が必要であり、排水量は 240m³/毎秒と、日本最大級で、世界でも類を見ない排水機場である。これは、25m プールの水を、1.5 秒でからっぽにできる能力である。

排水ポンプは電気で動くポンプが 6 台ある。ポンプの羽根は直径 4.2m、横軸・電動ポンプでは日本最大である。立軸・エンジンポンプを含めると、第 2 位になる。

※口径最大のポンプは 4.6m。なお、日本に 4000mm クラスのポンプを持つ排水機場は、3 地域 (新潟県、愛知県、江戸川地域) しかない。

排水ポンプ	原動機	口径	ポンプ型式	揚程	排水量	台数
常時・洪水用	電動機 1,300kW	4,200mm	横軸円筒型軸流 (可動翼)	2.40m	40m ³ /s	3台
常時・洪水用	電動機 1,400kW	4,200mm	横軸円筒型軸流 (可動翼)	2.40m	40m ³ /s	3台

○「国営新川流域農業水利事業」により改修

建設後約 35 年が経過し、施設の老朽化が顕著になったことから、平成 18 年度に国営新川流域農業水利事業に着手して以来、6 台あるポンプの更新が順次行われてきた。

平成 27 年にポンプ 6 台の更新が完了した。



③ 新潟県農業総合研究所作物研究センター

●視察テーマ：①施設概要

②水稻晩生新品種の開発・育成について

③施設視察

○施設の概要について

本県の農業・食品関係試験研究機関は、明治中期以降順次設立され、農政及び農業技術の変遷に伴って再編整備を繰り返し、時代や研究ニーズを踏まえながら農業技術の研究開発に努めてきた。この間、専門場所体制の機能を発揮し、本県の農業・食品産業を全国トップレベルに維持発展させる原動力の一つとなってきた。

一方、農業・食品をめぐる国際環境や消費構造が大きく変化し、農業及び食品産業については、地域の特性を生かし消費者ニーズをとらえた新品種育成や新食品開発をはじめ、「品質・味・健康・安全性」等を踏まえた生産・加工技術に加えて、「形・色・包装・保存・貯蔵性」のほか「流通・市場性・サービス」まで含めた幅広い条件をふまえた試験研究体制が求められるようになった。

そのため、旧農業試験場、旧園芸試験場、旧畜産試験場、旧食品研究所、旧高冷地農業技術センター、旧中山間地農業技術センター、旧佐渡農業技術センターが平成9年4月に統合して農業総合研究所として再編整備された。

現在は、農業総合研究所には管理部、企画情報部、基盤研究部、アグリ・バイオフーズ研究部がある。また、研究センターとして、作物研究センター、園芸研究センター、畜産研究センター、食品研究センター、高冷地農業技術センター、中山間地農業技術センター、佐渡農業技術センターがある。

○水稻晩生新品種の開発について

水稻晩生新品種は、地球温暖化が更に進んだ場合でも、新潟米が引き続きトップブランドとしての食味・品質を維持できるよう、コシヒカリよりも収穫時期が遅く、高温条件下でも品質に優れ、食味値も高いものとなるように研究・開発されてきたもの。平成20年度から研究・開発が開始され、平成27年度中に品種登録出願し、平成29年度に一般デビューする予定。2015年9月「新之助」と命名された。



④ 有限会社ワイエスアグリプラント

- 視察テーマ：①会社概要
- ②6次産業化の取組について
- ③施設視察

○会社の概要

平成10年に鱸集落、西汰上集落、天竺堂集落の有志5名で「YS生産組合」を結成、その後、平成13年5月に有限会社ワイエスアグリプラントとして法人化された。

「安全でおいしい農産物を生産し、生活者のかたがたと『お互いの顔が見える』事で安心を届けたい」という考えのもと、農業を自ら楽しみ、人を楽しませる農場を目指しており、水稻、大豆を中心にいちご等の園芸品目を取り入れた経営を展開している。

○食の安全、環境保全や6次産業化の認定

平成23年にJGAP（ジェイギャップ）認証を取得し、適切な管理で、安全な農産物を提供する農場運営を実現している。また、平成26年には六次産業化・地産地消法事業計画認定者として認定を受けており、農産物の6次産業化への取組も行っている。

※JGAP（ジェイギャップ）とは

農場やJA等の生産者団体が活用する農場・団体管理の基準であり、認証制度。農林水産省が導入を推奨する農業生産工程管理手法のひとつで、農薬、肥料、水、土、放射能の管理といったさまざまな基準が定められている。



登録番号 150000038

○直売所「あぐりの里」や観光農園の運営

直売所「あぐりの里」を併設し、生産した農作物のほか、自社製農産物を加工したいちごやブルーベリージャム等の販売をしている。

また、観光農園も運営しており、シーズンになるといちご狩りを行っている。



新農業戦略対策特別委員会 県内行政視察日程表

月日	発着時刻	発着地・視察先	備 考
11月12日 (木)	10:00 (発)	議会庁舎	[参集場所] 議会庁舎正面
	10:15 (着)	● 学校法人 国際総合学園 新潟農業・バイオ専門学校	〒 950-0932 新潟市中央区長潟 2 丁目1-4 TEL:025-368-7123 FAX:025-368-7124
	11:15 (発)	○ 専門教育による農業人材の育成について ○ 休耕地での試験栽培など新技術確立に向けた 取組について	
	11:30 (着)	【昼食】五頭の山茂登 新潟店	〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野447-1 TEL:025-280-1600 FAX:025-280-1600
	12:30 (発)		
	13:00 (着)	● 新川河口排水機場	〒951-2171 新潟市西区五十嵐 3 の町地内 新川河口排水機場 (窓口) 〒953-0042 新潟市西蒲区赤舘1285-1 新潟地域振興局巻農業振興部 TEL:0256-72-0958 FAX:0256-72-2955
	14:00 (発)	○ 施設概要と役割について ○ 施設視察	
15:10 (着)	● 新潟県農業総合研究所作物研究センター	〒 940-0826 長岡市長倉町857 TEL:0258-35-0823 FAX:0258-39-8498	
16:40 (発)	○ 施設概要 ○ 水稻晩生新品種の開発・育成について ○ 施設視察		
17:00 (着)	【宿舎】長岡グランドホテル	〒 940-0066 長岡市東坂之上町 1 丁目2-1 TEL:0258-33-2111 FAX:0258-33-2106	
11月13日 (金)	9:00 (発)	【宿舎】長岡グランドホテル	同上
	10:10 (着)	● 有限会社ワイエスアグリプラント	〒959-0438 新潟市西蒲区下山1318 TEL:0256-88-3400 FAX:0256-88-3480
	11:30 (発)	○ 会社概要 ○ 6次産業化の取組について ○ 施設視察	
	12:00 (着)	議会庁舎	解 散